

# 産 業 新 聞

2020年(令和2年)

9月10日(木)

Japan Metal Bulletin

第20034号  
Since 1936

発行所 産業新聞社  
 東京本社 東京都中央区新川1-16-14  
 編集局(非鉄) TEL 03(5566)8772  
 FAX 03(5566)8182  
 総務販売局(購読・配達) TEL 03(5566)8778  
 FAX 03(5566)8185  
 大阪本社 大阪市西区阿波座1-3-15  
 TEL 06(7733)7001 FAX 06(7733)7070  
 アジア総局 上海市雲山閣路85号 東方国際大廈C座1604室  
 上海支局 TEL 86-21-6278-7750 FAX 86-21-6278-7751

日刊 産業新聞 紙齢  
**20000**号  
 特別企画

「会社設立から半年間は中国からいっさいレアアースが供給されず売り上げの全く立たない日々が続いた。レアアース・レアメタル商社マテリアル・トレイディング・カンパニー(MTC)の小滝秀明社長は10年前の出来事を振り返る。

## 未来へ見出す活路

### レアアース産業の現在地と課題

ネオジム、ジスプロシウム、ランタン、セリウム、イットリウムなど17元素の総称である希土類(レアアース)。自動車の電動化など次世代技術に必須の元素でありながら、資源の9割以上を中国に依存していた供給ソースの脆弱性が世間一般にまで知れ渡ったのが2010年9月だった。あれから10年。日本のレアアース産業の現在地と課題を探る。

9月7日。尖閣諸島沖で違法操業していた中国漁船が日本の海上保安庁の巡視船に体当たりして

漁船の船長が逮捕される事件が発生した。日中間を大きく揺るがした「尖閣事件」を機に、中国政府はレアアースの対日禁輸に踏み切る。日本の製造業の生命線とも言える最重要元素群。供給が途絶えた日本の製造業はパニックに陥り価格は一気に10倍以上に暴騰し

や生産者などは「来るべきものが来た」と比較的冷静だった。彼らが2000年代初期から警告していたサプライチェーンの中国一極集中リスクが現実になったからだ。レアアースの対日禁輸には日本の脇の甘さも指摘された。尖閣事件の2カ月前。中国政府はレアアースの輸出許可数量を前年比4割削減すると発表したが、これに慌てた当時の政権幹部が訪中して中国に許可数量の見直しを要請。「レアアースが日本の生命線だ」ということを中国に教えてしま

と徐々に正常化する。欧米などがWTOに提訴していた中国の輸出規制が違反認定されたこともあり、暴騰していた価格も11年夏以降は下落基調に転換。それ以降は大きな変動もなくなってきた。レアアースの対日禁輸を機に、中国のレアアースの輸出許可数量を前年比4割削減すると発表したが、これに慌てた当時の政権幹部が訪中して中国に許可数量の見直しを要請。「レアアースが日本の生命線だ」ということを中国に教えてしま

るが過去に新興メーカーがレアアース開発プロジェクトを立ち上げたが頓挫している事例は多い。この10年間で名前が残っているプロジェクトは豪アラブ・リソーシズなど一部。日本としては「開発の可能性のあるパートナーをしっかりと見極める必要がある」とMTCの小滝社長。

# 中国以外の供給ソース開拓

## リスク回避し新用途開発

「日本の需要家が混乱する様子を見ながら、商社」  
 つた」と業界関係者は苦笑する。  
 対日禁輸は年が明けた。

が7%から41%へ伸びるなど、資源の中国リスクは大幅に低下した。だがリスクが消えたわけでもない。酸化セリウムや酸化ランタン、酸化イットリウムなどは19年時点でも90%以上を中国から輸入する。磁石に添加するキー素材のジスプロシウムやテルビウムなども「中国に続くソースがないため半永久的な課題として残る」と、レアメタル商社サムウッドの川崎豊副社長は指摘する。

サプライチェーンの中流域も不安を抱える。分離精製したレアアースの

「レアアースは持続可能な社会に貢献できる優秀な材料。上手にリスクヘッジをしながら新しい用途を開発していきたい」と国際希土類工業協会の清水副会長。レアアースを上手く使えない技術力。ここに磨きをかけていくことが、新しい時代の日本経済の成長エンジンとなる。



ネオジム磁石が使われる風力発電(新潟県胎内市)

が7%から41%へ伸びるなど、資源の中国リスクは大幅に低下した。だがリスクが消えたわけでもない。酸化セリウムや酸化ランタン、酸化イットリウムなどは19年時点でも90%以上を中国から輸入する。磁石に添加するキー素材のジスプロシウムやテルビウムなども「中国に続くソースがないため半永久的な課題として残る」と、レアメタル商社サムウッドの川崎豊副社長は指摘する。

サプライチェーンの中流域も不安を抱える。分離精製したレアアースの

「レアアースは持続可能な社会に貢献できる優秀な材料。上手にリスクヘッジをしながら新しい用途を開発していきたい」と国際希土類工業協会の清水副会長。レアアースを上手く使えない技術力。ここに磨きをかけていくことが、新しい時代の日本経済の成長エンジンとなる。

(増田正則、鈴木大特)